

琉球通運から“県内初”国際物流管理士が誕生 沖縄の地の利を生かし、グローバル化を推進

琉球通運株式会社では、中期経営計画(5ヵ年ロードマップ)達成に向けた人材育成の一環で国際物流管理士資格認定講座を受講することとなり、このたび沖縄県内初の国際物流管理士(国際物流部フォワーディング課 課長 藤崎圭介)が誕生した。近年、沖縄県では本土と東アジアとの主要都市を結ぶ国際物流の積極的な推進や、競争力のある国際物流拠点の形成に向けた新たなステージを目指しているが、その一方で国際貨物取扱量の伸び悩み、伸張するアジアのダイナミズムの取り込みには課題が見られている。

■沖縄の荷主様、本土の荷主様の国際競争を勝ち抜くためのグローバルロジスティクスを確立

当社では、沖縄国際物流推進の伸び悩みは、国際物流に精通する人材の不足、国際物流に関する専門知識やマネジメント技術の不足が原因ととらえ、積極的に人材育成に力を注いできた。そして、県内初の国際物流管理士誕生をきっかけに、沖縄県産品の輸出拡大、全国特産品流通拠点の推進、アジア貨物の取り込みなど、国際競争を勝ち抜くためのグローバルロジスティクスを確立する。

※国際物流管理士(International Logistics Master)

※(参考)国際物流管理士取得者は、第1期～今期(42期)累計で1,582人+16人(今期)=1,598人

■地の利を生かした国際物流の推進

4年前に台湾の大手物流会社のT.V.L(世邦国際)社と業務提携後、物流のグローバルネットワークを拡大し、連携を強化している。本年度は沖縄県の物流高度化推進事業にも参加し、当社代理店と連携して香港向け冷凍混載サービスの実証輸送を行うなど積極的な沖縄の国際物流の活性化に取り組んでいる。しかし、まだまだ県内には国際物流のスペシャリストが不足しており、国際物流に関する手続きやトレンドなどの情報交換が難しい状況の中、当社への輸出入に関する荷主からの問合せが年々増えてきていることもあり国際物流に精通した人材の必要性を強く感じていたため、世界で通用する我が国唯一の国際物流のスペシャリストの証である国際物流管理士を受講するに至った。本年度はコロナ禍による生活スタイルの変化によりオンライン講座での開催となり沖縄からも同条件での参加が可能になり、国際物流の専門的な知識やリスクマネジメントについて体系的に学び、試験にも無事合格し沖縄県内初の国際物流管理士が誕生することとなった。今後は沖縄経済と沖縄の国際物流の発展に寄与していきたい。



【講座内容に関する問合せ先】

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所

担当：風間 正行（KAZAMA Masayuki）

[Tel:03-3436-3191](tel:03-3436-3191) E-MAIL: kazama@logistics.or.jp

（後援）経済産業省・国土交通省

【お問い合わせ先】

沖縄県那覇市港町 1-26-1 那覇港総合物流センター事務所棟 4 階

琉球通運株式会社 国際物流部 フォワーディング課

担当： 課長 藤崎 圭介

[TEL:098-863-0631](tel:098-863-0631) FAX:098-863-0632

E-mail: keisuke.fujisaki@rff.co.jp